

ワークショップ講演時間の予定

- ・日時：平成23年5月12日(木)14:00-20:30 / 13日(金)9:00-17:30
- ・場所：東京大鉄門記念講堂（東京都文京区本郷7-3-1）
- ・主題：「Stop! 毒性要因による新薬開発中止～薬物動態研究者にできることは何か?～」
- ・代表世話人：寺村俊夫・アステラス製薬株式会社

5月12日木曜日

14:00-14:10 「代表世話人挨拶」 寺村俊夫(アステラス製薬)

「最先端研究に焦点」(発表40分、質疑応答10分)

14:10-15:00 「マイクロRNA薬物動態への関与と新規毒性評価への展望」 中島美紀(金沢大)

15:00-15:10 休憩

15:10-16:00 「ヒトiPS細胞を用いた新規in vitro毒性評価への展望」 水口裕之(大阪大・医薬基盤研)

16:00-16:10 休憩

16:10-17:00 「メタボロミクスを用いた新規毒性評価への展望」 曾我朋義(慶應大)

17:30-20:30:懇親会(東京大学医学部研究棟13階Capo PELLICANO)

5月13日金曜日

「毒性研究者と動態研究者の連携」(発表40分、質疑応答10分)

9:00-9:50 「毒性研究者の立場から」 橋爪恒雄(武田薬品)

9:50-10:00 休憩

10:00-10:50 「毒性研究者の立場から」 藤本和則(第一三共)

10:50-11:00 休憩

11:00-10:50 「動態研究者の立場から」 成富洋一(アステラス製薬)

12:00-13:15 「昼食」(ランチオン・セミナー)

「毒性回避戦略に焦点」(発表40分、質疑応答10分)

13:25-14:15 「トランスポータ白書を考慮した戦略」 岸本 航(バーリンガー・インゲルハイム)

14:15-14:25 休憩

14:25-15:15 「毒性バイオマーカーを考慮した戦略」 山田 弘(医薬基盤研)

15:15-15:25 休憩

15:25-16:15 「副作用とトランスポータ親和性を指標とし抗がん剤個別化治療戦略」 濱田哲輔(熊本大)

16:15-16:25 休憩

16:25-17:20 「特異体質性薬物毒性の回避戦略」 横井 毅(金沢大)

17:25-17:30 「代表世話人挨拶」 寺村俊夫(アステラス製薬)